

ますざわ

## 鱒沢小学校と協働で重要な昆虫の食草を移植します

～東北横断自動車道釜石秋田線の工事における重要な昆虫の保全について～

国土交通省岩手河川国道事務所では、遠野市の鱒沢小学校の児童のみなさんにお手伝いいただき重要な昆虫である「ヒメシロチョウ」の食草の「ツルフジバカマ」の移植を行います。このような作業を通して、子供達の住む地域に貴重な自然環境が存在していることや、それを保全していくことの大切さを理解していただけるものと期待されます。

### ◆概要

国土交通省岩手河川国道事務所では、「東北横断自動車道釜石秋田線(遠野～東和間)」延長33kmの整備事業を行っております。本事業では平成19年度に行われた動植物調査において、重要な動植物が確認されています。

この路線の遠野～宮守間に生息している重要な昆虫であるヒメシロチョウは、「ツルフジバカマ」を食草としています。ヒメシロチョウの生息環境を保全するため、路線周辺に生育する「ツルフジバカマ」を移植することとしました。移植作業にあたっては、地元の鱒沢小学校の児童のみなさんや「船渡公園ビオトープの会」の方々にお手伝いいただくことになりました。

### ◆ツルフジバカマの移植

開催日:平成21年10月8日(木)10:20～12:00 ※小雨決行(予備日10月9日(金))

参加:遠野市立鱒沢小学校の5年生・6年生(19名)の児童

「船渡公園ビオトープの会」のメンバー(4名)

内容:ツルフジバカマ(約50株程度)を移植する。

集合場所:遠野市船渡公園ビオトープ

〈岩手県政記者クラブ〉

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所  
調査第二課長 藤田 公典(内線 451)

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2

電話 019-624-3196(調査第二課直通)

### ○「ヒメシロチョウ」について

ヒメシロチョウ（シロチョウ科）は、北海道から九州まで分布している開張（翅を広げた時の長さ）約 40mm の小型のチョウ類です。翅は白色で前翅に黒色の斑紋があります。草原に生息し、川原や堤防、人家近くには草むら等にも見られます。

本種は、全国的に最近激減しており、環境省レッドリストでは絶滅危惧 II 類に選定されています。岩手県レッドデータブックでは D ランクに選定されており、火入れや放牧が行われなくなることによる食草のツルフジバカマの減少や、宅地開発等による生息地の減少が懸念されています。

### ○「ツルフジバカマ」について

ツルフジバカマ（マメ科）は、北海道から九州まで分布しているつる性の多年草です。草原に生育し、茎は他の植物に寄りかかって伸び約 2m にも達します。

本種は西日本では絶滅危惧種に選定されている府県もあります。岩手県レッドデータブックでは選定されていませんが、ヒメシロチョウの食草として重要な植物です



ヒメシロチョウ



ツルフジバカマ

出典：「いわてレッドデータブックー岩手県の希少な野生生物ー」（平成 13 年 岩手県）  
「山溪カラー名鑑 日本の野草」（昭和 58 年 山と溪谷社）

# 集 合 場 所



遠野市船渡公園ビオトープ

※盛岡市から車で1時間20分程度です。